

平成25年度 事業報告

社会福祉法人 大阪市西成区社会福祉協議会

社会福祉法人大阪市西成区社会福祉協議会
 平成25年度 事業報告

月 日	事 業 内 容	場 所 等
25 5 29	第1回理事会・評議員会 <ul style="list-style-type: none"> ・議事録署名人の選任について ・評議員の報告について ・平成24年度事業報告(案)について ・平成24年度決算報告(案)について ・監事監査・会計監査報告について ・第20回西成区社会福祉大会の開催について ・平成24年度区社協会員募集の報告について ・平成25年度金婚夫婦の調査について 	西成区合同庁舎4階 4-5・7会議室
	ボランティアビューロー運営委員会 平成24年度事業報告について 平成25年度事業計画について	西成区合同庁舎4階 4-6会議室
	善意銀行運営委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度善意銀行「特定テーマ」払出 活動応援資金」助成について 	西成区合同庁舎4階 4-6会議室
7 1	「第63回社会を明るくする運動」協賛(～31日)	全国一斉
10	広報紙「社会福祉にしなり第71号」発行	40,000部
29	地区社協会長会 <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉募金の実施について ・地区社協関係補助金等の説明および交付について ・高齢者福祉月間事業の取り組みについて ・平成25年度大阪市寝具洗濯乾燥消毒サービス事業 ・区社協役員研修会について ・西成区民まつりへの参加について ・東日本大震災の被災者・被災地支援について 	西成区合同庁舎4階 4-7会議室
8 1	地域福祉募金の実施(～31日) 募金総額 7,057,175円 (前年度比 196,293円減)	区内各地区

月 日	事 業 内 容	場 所 等
8 4	「区民まつり」参加、協賛 区社協PRエコうちわ作り 参加者227人 ボランティアビューローの啓発 東日本大震災被災地支援ボランティアバス運行周知	西成区民センター周辺 従事者5人
9	第20回西成区社会福祉大会 ・感謝状贈呈《地域福祉推進功労者1人、善行者15人、ボランティア1人、区社協協助者20人、物品寄付者2人、善意銀行協助者4人、おもちゃ図書館協助者2人》 ・講演 「ほっとけ心のアップレ介護」 講談師 田辺 鶴瑛	西成区民センター 参加者651人
9 17	ふとん丸洗い・乾燥サービス申請受付(9/17日～9/27日)	申請者571人
9	金婚夫婦へお祝い品を贈呈(掛け時計)(～10日)	209組
19	区内100歳以上高齢者訪問、記念品の贈呈(区内計30人)	会長、区長ほか
27	第2回理事会・評議員会 ・議事録署名人の選任について ・評議員の報告について ・定款変更について ・諸規程の改正について ・コミュニティ育成基金の運用について ・法人設立20周年記念「区社協役員研修会」の開催について ・会費の募集について	西成区合同庁舎4階 4-6・8会議室
	・法人設立20周年記念「第20回西成区社会福祉大会」の報告について ・第39回西成区民まつりの参加報告について ・高齢者福祉月間の報告について ・東日本大震災被災地支援活動ボランティアバスについて	
10 1	街頭募金の実施(天下茶屋・花園町・岸里・玉出の各駅)	
17	広報紙「社会福祉にしなり第72号」編集委員会 ・「社会福祉にしなり第72号」の掲載記事について	西成区民センター 2-1会議室

月 日	事 業 内 容	場 所 等
	・各地区情報交換	参加者17人
10	20 「第57回区民体育レクリエーション大会」協賛<雨天のため中止>	成南中学校校庭
	29 法人設立20周年記念区社協役員研修会 ・研修先「初田製作所(消火器リサイクル工場見学)」 ・昼食 おごと温泉「びわこ緑水亭」	参加者24人
11	1 会員募集の実施(~3月末)	区内各地区
	1 住民会員(個人) 1,884人 賛助会員(法人・団体) 135件 組織構成会員 52件	総額 4,165,000円
	9 第17回 あったかハートをつないで ~障がい者地域生活支援のつどい~	ノア・インドアステージ 天下茶屋ふれあい広場
12	19 第3回理事会・評議員会 ・議事録署名人の選任について ・公募事業について ・諸規程の改正について ・平成25年度補正予算(案)について ・区社協・地区社協役員合同研修会について ・平成25年度事業報告(上半期)について ・区社協役員研修会の報告について ・区社協役員等の受彰者の報告について	西成区合同庁舎4階 4-6・8会議室
26	1	10 広報紙「社会福祉にしなり第72号」発行 41,000部
	13 成人の日記念のつどい協賛	西成区民センター
	2	4 区社協・地区社協役員合同研修会 テーマ「エンジョイライフ～楽しく生きやな損～」 講 師 松本義和氏(シドニーパラリンピック柔道銅メダリスト) 参加78人
	28 ふれあい喫茶・食事サービスボランティア研修会 ・研修会 テーマ「ボランティア活動を楽しむために」 講師 大阪市ボランティア・市民活動センター 参加者141人	なんば道頓堀ホテル

月 日	事 業 内 容	場 所 等
	川口 加奈子氏 ・交流会	
3 24	第4回理事会・評議員会 ・議事録署名人の選任について ・理事・評議員の報告について ・平成25年度補正予算(案)について ・事業積立預金の運用について ・生活福祉資金貸付事務事業について ・諸規程の改正等について ・平成26年度事業計画(案)について ・平成26年度予算(案)について	西成区合同庁舎4階 4-6・7・8会議室
	平成25年度善意銀行運営委員会 ・平成25年度善意銀行助成について ・平成25年度特定テーマ払出しについて	西成区合同庁舎4階 4-7会議室
26	にしなりウェルカムコンサート(～28日) 演奏者 大阪フィルハーモニー交響楽団	西成区合同庁舎1階 区民ロビー

地域支援担当事業

1. 地域福祉活動等の支援

(1) 小地域福祉活動支援《 10・11ページ参照 》

地区社会福祉協議会、地区ネットワーク委員会、地域活動協議会等における小地域福祉活動の実態把握及び相談、支援を実施し、各地区との協働における小地域福祉活動の推進・活性化に取り組んだ。

《活動実績》

活動内容	具体的取組み	実施回数
地域福祉活動状況の把握と相談支援	ふれあい型高齢者食事サービスやふれあい喫茶・子育てサロン・見守り活動など、各地域福祉活動の状況を把握し、内容に応じて活動者への相談、助言等支援の実施	57回
地域福祉課題及び支援の検討	食事サービス・ふれあい喫茶連絡会及び研修会等の開催、各種小地域福祉活動関係者会議（地区社協、ネットワーク委員会、地域活動協議会等）打合せ、研修の参画	64回
活動運営や個別支援ミーティング	地区社協の事業展開や組織運営、地域福祉活動推進にかかる相談、助言等支援を実施	19回
地域社会福祉協議会の総会等の連絡調整	地区社協会長会、地区社協役員研修会、社会福祉大会、社会福祉にしなり編集委員会の実施、地区社協総会への出席	9回
地域ネットワーク委員会の総会等の連絡調整	ネットワーク委員会委嘱状交付式及び研修会の開催、ネットワーク委員会正副委員長連絡会、ネットワーク委員会連絡会の開催、地区ネットワーク委員会総会への参画	11回
合計		160回

(2) 西成区地域福祉アクションプランの推進《 12ページ参照 》

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域のすべての人が支え合い、相互に協力しながらそれぞれの役割を積極的に果たすという「地域福祉」を推進するため、西成区においても地域福祉アクションプランの推進に取り組んできた。

平成25年度については、「第3期・西成区地域福祉アクションプラン（以下、プランという）」の初年度にあたり、第2期・プランの成果をもとに、「新しい人の参加」「情報提供の充実」「地域活動の担い手の発掘、育成」の3つの重点項目に沿って取り組みを行

った。

具体的には、障がい部会の「おでかけナビの作成、配布」、「福祉教育パネルの作成」、子ども部会の「赤ちゃんの駅マップ、冊子の作成、配付」、生活保護部会の「高齢被保護者結核健診受診勧奨モデル事業」、「高齢被保護者の地域活動への参加モデル事業」、「地域活動への参加促進とつながり事業」、バルーンアート実行推進グループによる地域行事、イベントでの活動等、分野別部会の取組みを行った。

また、アクションプラン通信「かけはし」の発行、区民まつり等のイベントにおけるアクションプランの周知や、若い世代への関心を高めるために乳幼児や子どもを対象とした区民フォーラムも開催した。

今後は、地域活動の担い手の発掘、育成に向けて、地域での成功事例を集める取り組みも進めていく。

《活動実績》

活動内容	具体的取組み	実施回数
西成区地域福祉アクションプランの推進	アクションプラン推進委員会、作業部会の開催 分野別部会の開催・運営、各部会等事業の推進、アクションプラン通信にしなり「かけはし」発行（年2回発行）、アクションプラン「おでかけナビ（障がい者の外出サポートマップ）」の作成・配布等、地域ふれあい交流展示会、福祉教育パネル作成（四天王寺大学とのコラボレーション）、「赤ちゃんの駅」事業の周知、冊子作成、他	61回

（3）西成区地域支援システムや個別課題検討等への参画、協働

西成区地域支援システム（代表者会議、実務者会議、高齢者支援部会、障がい者・高齢者虐待防止連絡会議等）やあいりんモデルケース会議、小地域ケア会議等への参画・協働を通じて、要援護者支援の課題検討、システム構築、ネットワーク強化に取り組んだ。

《活動実績》

活動内容	具体的取組み	実施回数
実務者会議・専門部会・個別課題検討等への参画	地域支援システム（代表者会議1回、実務者会議1回、高齢者支援部会3回、障がい者・高齢者虐待防止連絡会議1回）の実施・参画、地域包括支援センターと協働による小地域ケア会議の実施・参画（3地区7回）、あいりんモデルケース会議への出席（6回）	19回

(4) 地域福祉推進のための広報、啓発活動及び研修の実施

西成区における地域福祉活動についての情報を広く周知し地域福祉を推進するため、広報紙、ホームページ、イベント企画等を通じて情報発信を行った。

また、地域福祉活動の担い手や区民に対する啓発を目的に、各種研修会を実施した。

《活動実績》

活動内容	具体的取組み
地域福祉推進のための広報、啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙「社会福祉にしなり」発行（7月、1月発行、各40,000部作成、配布方法：新聞折込・町会回覧・関係機関窓口での配布等） ・区社協ホームページによる地域福祉情報発信（常設、通年） ・区民まつり（8月4日）等での区社協事業、地域福祉活動についての啓発活動
研修会の開催、協力	<ul style="list-style-type: none"> ・食事サービス・ふれあい喫茶合同研修会 実施日：6月19日 参加者：149人 講師：南大阪ヤクルト販売、市社協職員（コーディネーター） テーマ：「衛生研修会」、「地域活動の可能性について」 ・西成区社会福祉大会（講演会） 実施日：8月9日 参加者：651人 講師：田辺鶴瑛氏 テーマ：「ほっとけ心のアップレ介護」 ・第12期西成区地区ネットワーク委員委嘱状交付式及び講演会 実施日：9月11日 参加者：327人 講師：鈴木大介氏 テーマ「ネットワーク委員会の活動について」 ・区社協・地区社協役員合同研修会 実施日：2月4日 参加者：78人 講師：松本義和氏 テーマ：「エンジョイライフ～楽しく生きやな損～」 ・ふれあい喫茶・食事サービスボランティア研修会 実施日：2月28日 参加者：136人 講師：川口加奈子氏 テーマ：「ボランティア活動を楽しむために」

2. ボランティア・市民活動への支援、福祉教育の推進

西成区におけるボランティア・市民活動の活性化を図り、主体的な地域福祉活動を促進することを目的に、ボランティア・市民活動への支援及び福祉教育の推進に取り組んだ。

(1) ボランティアビューロー事業の実施 《 16 ページ参照 》

地域に根差したボランティア活動の推進を基本理念に、幅広い市民の参加を促進するため、ボランティア活動についての相談援助や啓発活動、ボランティア講座の開催、交流事業等地域ニーズに合わせた事業を実施した。

また、地域課題解決のためのマッチングを目的に、NPOや企業等新しい市民活動の担い手との連携、協働を図る交流会を開催した。

また、災害ボランティア活動支援を目的に、被災地へのボランティアバスの派遣や啓発活動等も実施した。

(2) 福祉教育の推進

各地区ネットワーク委員会や区内小中学校からの依頼により、「車いす・アイマスク体験・高齢者疑似体験等の学習会」を地域包括支援センター・地域総合相談窓口等と連携しながら、学校や地区ネットワーク委員会等と協働で福祉体験を企画し、講師として参加した。

《活動実績》

	実施場所	対象者	参加者数	実施日	実施内容
1	天下茶屋中学校	1年生	108人	2月21日	アイマスク体験、視聴覚教材視聴、盲導犬ユーザー(視覚障がい者)
2	金塚小学校 (山王地域)	4年生	45人	2月6日	アイマスク体験
3	岸里小学校	4年生	101人	12月3日	車いす体験、視聴覚教材視聴
4	弘治小学校	5・6年生	61人	2月26日	アイマスク・車いす体験
5	天下茶屋小学校	5年生	76人	6月3日	アイマスク体験
6	松之宮小学校	3年生	32人	7月5日	アイマスク体験
7	松之宮小学校	4年生	27人	11月12日	車いす体験、視聴覚教材視聴
8	玉出中学校	1年生	117人	11月12日	アイマスク・車いす体験、視聴覚教材視聴
9	橘小学校	3年生	67人	10月30日	車いす体験
10	今宮小学校	5年生	35人	11月21日	車いす体験
11	萩之茶屋小学校	4年生	24人	11月25日	アイマスク体験
12	長橋小学校	希望者	63人	11月28日	車いす体験

13	千本小学校	4年生	115人	11月27日	アイマスク・車いす体験、視聴覚教材視聴
14	玉出地区ネットワーク委員会	ネットワーク委員	25人	3月5日	アイマスク体験、

3. 西成区社会福祉施設連絡会の取り組み 《 21ページ参照 》

住民主体の福祉コミュニティの形成に向け、地域あるいは分野毎の現状把握や課題の抽出等を通じ、西成区地域福祉アクションプランの推進に対して、社会福祉施設連絡会の中心的活動として位置づけ、積極的に参画した。

また、施設職員の人権意識等を高めることを目的とし、国立療養所への視察研修や障がい者虐待防止の取り組みについての講演会も行った。

さらに、南海トラフ地震に備えた地域防災について学ぶ研修会を開催し、併せて地域とのつながりから防災を考える地域連絡会も行うなど、大規模災害を想定した施設の防災のあり方についても理解を深めた。

4. 災害ボランティア活動支援の取り組み 《 16ページ参照 》

西成区における大規模災害を想定した要援護者の把握や、支援のあり方の検討、さらに地域や関係機関との連携・協働のあり方について検討を進めた。また、災害ボランティア活動支援センター設置を想定した準備を進めた。

《活動実績》

- ・西成区緊急時要援護者登録事業の実施（区、消防と協働）
- ・西成区緊急時支援検討委員会への参画・協働
- ・区災害ボランティアセンターの設置に向けた準備（物品や環境の整備）
- ・地域行事（あそばーin 西成公園）における災害ボランティアセンター周知ブースやパネルの展示、地域と施設のマッチングによる地域防災活動の推進
- ・被災地への災害支援ボランティアバスの派遣

西成区高齢者食事サービス連絡会

月	日	事業内容	場所等
25	6	<p>5 第1回西成区高齢者食事サービス連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員改選 ・平成25年度事業計画 ・情報交換 ・事務連絡 合同研修会について 	<p>西成区民センター 2階2-1会議室 参加者39人</p>
		<p>19 西成区高齢者食事サービス・ふれあい喫茶合同研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生研修会 「食中毒とその予防」 南大阪ヤクルト販売株式会社 宅配事業部 健康管理士一般指導員 秋山真之 管理栄養士 工藤典子 パワーポイントを使っての講話 ・コミュニケーション研修 「地域活動の可能性について」 《コーディネーター》 大阪市社会福祉協議会 地域福祉課長 藤原一男 地域福祉課副主幹 青木智香 《活動報告者》 萩之茶屋高齢者食事サービス委員会委員長 東谷 高子 弘治ふれあい喫茶委員会 委員長 藤井五十鈴 	<p>西成区民センター 参加者149人 (食サ喫茶合計)</p>
11	22	<p>第2回西成区高齢者食事サービス連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域講座 「高齢者を狙った悪質商法の手口と対処法」 大阪市消費者センター 暮らしのナビゲーター 藤田文枝 ・試食会 ・情報交換 ・事務連絡 区民フォーラム 	<p>はぎのさと別館 2階 参加者39人</p>
26	2	<p>28 ふれあい喫茶・食事サービスボランティア研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマ 「ボランティア活動を楽しむために」 講師 大阪市ボランティア市民活動センター 川口加奈子 ・交流会 	<p>道頓堀ホテル 参加者136人 (食サ喫茶合計)</p>

西成区ふれあい喫茶連絡会

月日	事業内容	場所等
25 6 5	第1回西成区ふれあい喫茶連絡会 ・役員改選 ・平成24年度事業報告、平成25年度事業計画 ・事務連絡 合同研修会について	西成区民センター 2階2-1会議室 参加者40人
19	西成区高齢者食事サービス・ふれあい喫茶合同研修会 ・衛生研修会 「食中毒とその予防」 南大阪ヤクルト販売株式会社 宅配事業部 健康管理士一般指導員 秋山真之 管理栄養士 工藤典子 パワーポイントを使つての講演 ・コミュニケーション研修 「地域活動の可能性について」 ≪コーディネーター≫ 大阪市社会福祉協議会 地域福祉課長 藤原一男 地域福祉課副主幹 青木智香 ≪活動報告者≫ 萩之茶屋高齢者食事サービス委員会委員長 東谷 高子 弘治ふれあい喫茶委員会 委員長 藤井五十鈴	西成区民センター 参加者149人 (食サ喫茶合計)
10 31	第2回西成区ふれあい喫茶連絡会 ・ふれあい喫茶(長橋 赤飯・小鉢・吸い物/北津守 ホットケーキ・コーヒー)試食 ・地域講座「高齢者を狙った悪質商法の手口と対処法」 大阪市消費者センター 係長 二階義明 ・情報交換 ・事務連絡 西成区結核検診	長橋老人憩の家 参加者48人
26 1 25	西成区地域福祉アクションプラン 第10回区民フォーラム ・ふれあい喫茶コーナー出店	喫茶ボランティア協力24人 西成区民センター
2 28	ふれあい喫茶・食事サービスボランティア研修会 テーマ 「ボランティア活動を楽しむために」 講師 大阪市ボランティア市民活動センター 川口加奈子 ・交流会	道頓堀ホテル 参加者136人 (食サ喫茶合計)

西成区地域福祉アクションプラン

□ 障がい部会 □

今年度より障がい部会は2ヶ月に1度の開催となり、7回の障がい部会を開催し、検討を重ね、具体的な取り組みを進めた。

■ 「にしなり区おでかけナビ」

おでかけサポートグッズ事業の1つである「おでかけらくらくマップ」の内容と、西成区障害者自立生活支援調整委員会の作成した「にしなり区障がい児・者さぼーとマップ」の内容を活用し、さらに使いやすいように合同で作成した「にしなり区おでかけナビ」が完成した。冊子形式のマップでは、部会員にて現地調査を実施し、新たに協力を得ることが出来た多目的トイレのある医療施設や商業施設などの情報も掲載された。

■ 「ちいき☆ふれあい交流展示会」

昨年度に引き続き区民ギャラリーにて、合計10カ所の障がい者施設や医療施設の利用者の作品と、施設の概要やプログラムについても紹介した。今後も地域の皆さんへ障がいに対する理解を拡げる「ちいき☆ふれあい交流」の取り組みを継続していく。

■ 「福祉教育パネル」

子どもから大人まで、障がいについて理解を深めてもらうため、昨年作成した「福祉教育パネル」を、今年度はジャガピーを登場させるなど、より親しみのもてる内容にし、区民まつりや区民フォーラムにて展示した。

また、広くパネルのアイデアを募り、新たな「つながりづくり」を目的として、四天王寺大学の学生と意見交換会を行った。社会福祉を学ぶ現役大学生にアクションプランの概要、福祉教育パネルの目指すところを学んでもらい、実際に学生の皆さんにパネルの制作をしてもらった。また、作品の制作意図、工夫点について学生自らの声を聞く場として、障がい部会と大学をインターネット回線でつなぐ「テレビ電話」で中継プレゼンテーションを行った。作品は区民フォーラムにて展示を行った。

■ 「障がい福祉に関する相談コーナー」

あったかハートフェスティバルや区民フォーラムにて、障がい者や支援者の方々が、気軽に相談できる場を設け、来場者に障がい福祉に関する情報提供もあわせて行った。

事業実施中は相談コーナーを常設し、「誰でも、いつでも、気軽に相談できる」相談コーナーの設置をこれからも継続していく。

■ 西成区身体障害者団体協議会ボウリング大会

障がいをお持ちの方が、社会参加できる場の情報提供の取り組みとして開催された「第16回西成区身体障害者団体協議会ボウリング大会」では、障がい部会を通じて、障がい福祉施設団体にて構成される「西成区レクリエーション実行委員会」へ参加募集の協力依頼をしたところ、12名の参加があった。

□ 地域部会 □

□ 高齢部会 □

※平成25年度は、両部会ともに未開催。

□ 生活保護部会 □

生活保護部会では、すべての人々が孤立や孤独、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う(ソーシャル・インクルージョン)社会を目指している。そして、生活保護受給者のみならず、低所得者やホームレスの方も含めた、「つながり」の構築をはかっていくための取り組みを行っている。

■ 「高齢被保護者結核健診受診勧奨モデル事業」の実施

この事業は結核健診の受診の呼び掛けを通しての「つながりづくり」をはかるものである。この取り組みに賛同する協力アパート42棟が連携し「結核健診つながり班」として、アパート間のつながりや高齢被保護者の交流の場づくりをはかるとともに、保健福祉センターとも連携して取り組みを進めていく。

西成区特区構想の結核対策の拡充の取り組みとも連携し、人の集まるところに健診車をだしてはどうか、健診と同時に正しい知識を持ってもらうため健診時にパネル展示等工夫してはどうかなど意見反映を行った。

■ 「高齢被保護者の地域活動への参加モデル事業」・

「地域活動への参加促進とつながり事業」の実施

高齢被保護者の多くは近所付き合いがほとんど無い状況にあり、地域との「つながりづくり」が求められている。また、高齢被保護者がボランティアや地域活動に参加することは、社会的な自立を促すとともに、地域の環境整備への貢献にもつながる。

今年度も、山王地域と今宮地域で昨年に引き続き同事業の取り組みを行った。また、新たに北津守地域と長橋地域で取り組みが始まった。

山王地域による取り組みでは、清掃活動へ的高齢被保護者の参加者は、いつも10名から15名程度で同じ顔ぶれとなっている。清掃が終わってからは、山王集会所で珈琲などを飲みながら地域の方と会話し、交流が広がっている。

また、今宮地域では、清掃活動へは元々80名~100名の方が参加されており、そこに新たに高齢被保護者15名程が参加している。活動のあとは社会福社会館で珈琲とお菓子がだされ、地域の方と雑談している。

新たに取り組みがはじまった北津守地域では、民生委員を中心に「試験的緑化事業」の手伝いで生活保護受給者を含め地域の方へボランティアを募集し活動が始まった。未利用地に植えたレンゲと菜の花の水やりや草抜きを行う内容である。ボランティア講座を受講したあと、参加者全員で作業を行った。また、長橋地域では、民生委員や民生委員OBが中心になり、以前からボランティア活動を行っている方と意見交換会を開催のうえ、なにわ筋沿いを一緒に清掃する取り組みが始まった。

■ 「ゴミ対策」についての検討

単身高齢者の方などでゴミの分別などが難しい方に、習慣をつけてもらうために、

どのような支援が必要かを話し合った。広報紙で啓発されているものの、伝わりにくい可能性もあり、よりわかりやすいチラシを作成して生活保護給者に送付した。

□子ども部会□

子ども部会は、2か月に1度、時間は午前、午後、夜と順番に開催している。

今年度も前年度に引き続き、乳幼児の親子等の外出時に授乳やおむつ替えて、区内の施設等を気軽に利用できるようにする「赤ちゃんの駅」事業を中心に取り組みをすすめた。

「赤ちゃんの駅」事業については、西成区社会福祉施設連絡会の加盟団体などや、協働して取り組んでいる子育てネットの登録団体にも協力依頼し、平成26年3月現在39施設の協力を得て実施している。

赤ちゃんの駅を広く市民に知らせていくために、前年度作成した「赤ちゃんの駅マップ」を乳幼児健診や子育てサロン等で配布を行ったり、インターネット上で公開するなど周知を行った。また、施設をより利用しやすくするため、協力施設の情報の公開にも取り組んだ。赤ちゃんの駅利用状況の聞き取りや施設の写真撮影を行い、見開きA5版マップと協力施設ごとの利用可能日時を記載した一覧と、協力してもらえる内容や建物の紹介写真を掲載し、気軽に持ち運べる小冊子として作成を行なった。

さらに、西成区民フォーラムでは、「赤ちゃんの駅」の周知用パネルを展示した。乳幼児・授乳室において「赤ちゃんの駅」をイメージしてもらえるようベビーベットや授乳スペースのモデルルームを作り、加えて協力施設の写真も掲示して周知活動を行なった。

次年度は、新たに作成した赤ちゃんの駅小冊子配布やインターネット上での公開など周知を行うとともに、さらに協力施設を広げていけるよう取り組んでいく予定である。

□ めんばーずグッズ実行・推進グループ □

■ 平成18年8月より、西成区地域福祉アクションプランに賛同いただいた方々に協賛金をお願いし、記念品をお渡ししてきた。記念品も、ライト付きホイッスル(きらっぴい)に始まり、エコバック、西成区のマスコットキャラ「ジャガピー」のピンバッジ、マスコット、防災ボトル等様々な記念品を作成してきた。

■ 今年度は、災害時に加えレジャーにも使用できる「ウォーターバッグ」を用意し、賛同いただいた方に記念品として渡した。また、前年度に引き続き、皆さんの賛同を得て協賛金の1割を東日本大震災の義援金として送金した。今後も「めんばーず」とともに西成区地域福祉アクションプランをたくさんの方々を知っていただけるよう取り組みを進めていく。

□ バルーンアート実行・推進グループ □

バルーンアート実行・推進グループは、平成19年6月に発足し5年間「バルーンアート活動による新たなつながりづくり」を進めてきた。

- この活動は、バルーンアートファンクラブというすばらしい取組みがあるからこそ進めることができているが、平成25年6月からは、ボランティアグループとして活動することになり、より自主的で地域に密着した活動が進められている。

西成区を大きく3つのグループに分けることで、地域の枠を超えてバルーンアートによるつながりが身近なものになり、さらに出張講習会や催しの協力なども、より近い地域のファンクラブの方たちの協力で実施され、より強いつながりを築くことができた。またバルーンアートフェスタを開催し、より多くの区民のつながりの場づくりを進めることもできた。

- 今後もバルーンアート実行・推進グループでは、バルーンアートファンクラブへの支援を通じて、様々な機会に参加者にバルーンアートの楽しさを感じてもらい、つながりづくりのきっかけとして役立てていけるよう取り組んでいく。

また、小中学生等これからの地域福祉活動を担う世代へも積極的にアプローチし、担い手の育成にも力を入れていきたい。

西成区ボランティアビューロー事業

1. 重点的に取り組んだ課題

取り組んだ課題	内容	成果・今後の方向性
男性ボランティアの活動先の開発	<p>西成区においては、男性ボランティアの登録が多いが、活動先の確保が難しく、多くが待機の状態となっている。そこで、福祉施設等へ積極的にアプローチし、受入れを依頼した。</p> <p>活動に際しては、利用者と接することが苦手な方が多いので、環境整備(掃除等)の活動という点を強調しコーディネートした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受入れ実績として、子ども関係施設の環境整備(掃除等)や、イベントスタッフ(準備やブース等)ボランティア活動。拠点づくりの支援として、室内掃除や改装の手伝い等を行っている。 ・今後もボランティアの受入れ先の開発を継続するとともに、現在活動している男性ボランティアの組織化等、育成にも力を入れていく。
防災・災害ボランティア活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・区民まつり パネル展示 平成23、24、25年度ボランティアバス報告 ・子育てネットあそぼパーク 災害についてのパネル展示、備える道具の紹介、簡単クッキング ・災害ボランティアセンターに必要な備品を購入した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パネル展示や備える道具の紹介、簡単クッキングにより、広く区民に周知し興味を持ってもらうことができた。 また、災害ボランティアセンターに必要な備品を購入し、災害時に必要な備品の準備を行った。 ・今後も、周知を行うとともに、災害ボランティアリーダーの育成にもつなげていく。
子育て支援ボランティア講座 (2回連続)	<p>子育て支援にかかわるボランティアのニーズがあるため、子育てに興味のある方を対象とし、講座終了後子育て支援ボランティアとして登録し活動につなぐことを目的とし、2回連続講座実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第1回 子育て支援ボランティアの基本」 ・「第2回 役割と活動体験」 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者 第1回 9人 第2回 8人 ・子育て支援ボランティアへの登録者 7人。次年度より子育て支援ボランティアとして活動開始予定。 ・活動が継続的に支援し、組織化等できるようにしていく。
東日本大震災被災地支援ボランティア活動の取組み ・ボランティアバスの運行	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地では災害ボランティアニーズが多く残される中、前年度に引き続き、被災地でのボランティア活動を希望するボランティアバスの運行を行った。 ・宮城県南三陸町での支援活動(ガレキ処理)1日、気仙沼市での漁業支援(土俵づくり)1日、リアス・アーク美術館見学(被災時の写真や物の展示)、語り部による被災から現在までの語りと気仙沼市内を視 	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地での災害ボランティアニーズを一部充足できた。 今回は、ガレキ処理1日、漁業支援(土俵づくり)では、地元漁師の方との交流をもちながらの支援活動、リアス・アーク美術館見学や、語りと気仙沼市内を視察という行程を行ったことで、災害支援や防災について参加したボランティアの理解が深まった。 ・今後も、被災地への支援を継続し

	察した。 ボランティアは区内外合わせ18 人で3日の行程で実施した。	ていく。 区内の施設を含め参加者、7人。
--	--	-------------------------

2. 運営・基盤事業

	事業名称	備考(内容等)
1	ボランティアビューロー運営委員会	年1回。平成24年度事業報告および平成25年度活動計画

3. 啓発・広報事業

	事業名称	備考(内容・啓発先等)
1	「にしなりくボランティアビューローだより」の発行	年2回。ボランティア活動に関する情報を掲載。登録ボランティアおよびグループ、関係施設・団体、その他設置協力者へ送付。地域での回覧等。 平成26年1月発行より、「社会福祉にしなり」に合体。
2	ボランティア活動のPRコーナーの設置	区社協内にボランティア活動のチラシの設置やポスターの掲示。
3	「区民まつり」に参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの協力を得て、ボランティアビューローPR用ポケットティッシュを配布 ・パネル展示により平成23、24、25年度ボランティアバスの報告 ・区社協被災地支援活動

4. ボランティア養成事業

	事業名称	備考(内容・延べ参加人数等)
1	子育て支援ボランティア講座(2回連続)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援にかかわるボランティアのニーズがあるため、子育てに興味のある方を対象とし、講座終了後子育て支援ボランティアとして登録し活動につなぐことを目的として実施。 ・テーマ 第1回 子育て支援ボランティアの基本 第2回 役割と活動体験 ・参加者 第1回 9人 第2回 8人 ・登録者 7人
2	初級ボランティア講座	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてボランティア活動を行う方への心構えや、参加者同士の交流をもつことを目的として実施。 ・アクションプラン生活保護部会と地域が協働して取り組んでいる清掃活動に参加するボランティアを対象に「ボランティア活動について」の講義。 ・参加者 16人

5. 活動支援事業

	事業名称	内容
1	各ボランティアグループ定例会に参加	随時参加し、ボランティア活動に関する情報提供等や、相談に対応。 <参加した主な活動> ・西成区在宅訪問ボランティアグループ ・西成おもちゃ図書館パンダ ・ボランティア水曜会 ・西成区ボランティア連絡協議会 ・にしなり・おもちゃ病院
2	ボランティアルームの貸出	ボランティアグループの活動場所として貸出。
3	助成金や活動情報他	随時
4	西成区企業・NPOまちづくり交流会の開催	まちづくりセンター支部と共催で、地域課題解決のためのマッチングを目的に、企業・NPOと地域団体が出会い、つながる場としての交流会を開催。 ・企業・NPO“異次元交流ライブ”南ブロック編 開催日：7月2日 参加者59名 ・西成区まちづくり企業・NPO交流会 開催日：10月24日 参加者33名 ・第2回西成区まちづくり企業・NPO交流会 開催日：2月20日 参加者38名

6. その他ボランティアビューロー事業

	事業名称	内容
1	ボランティア活動保険受付	随時
2	大阪市ボランティア活動振興基金受付など	10グループ
3	わが町にしなり子育てネットへ参画	・子育てネットの加盟団体として参画し、イベント・講習会・役員会への参加・協力 ・子育てネットに関わっているボランティアグループへの支援。

7. 災害に関する取り組み

	事業名称	内容	対象者	備考 (協働・共催した主な団体名)
1	ボランティアバスの運行	南三陸町・気仙沼市へのボランティア活動支援	高校生以上	大阪市ボランティア情報センター

2	区民まつり	・パネル展示 H23、H24、H25年度ボランティアバス 報告及び区社協被災地支援活動		
3	あそぼパーク	・パネル展示 平成23、24、25年度ボランティアバス 報告及び区社協被災地支援活動 ・災害に備える道具の紹介 ・困った時でもできる簡単クッキング		

8. 協働・共催事業について

	事業名称	備考(協働・共催した主な団体名)
1	「区民まつり」に参加	区コミュニティ協会
2	わが町にしなり子育てネット 「ハギッズ」の作成	わが町にしなり子育てネット
3	「子ども元気まつり」に参加	わが町にしなり子育てネット
4	「子育ての集い」に参加	わが町にしなり子育てネット

9. ボランティア需給調整事業について

(1)利用登録施設…計37施設

活動回数	活動人数
115回	249人
<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市保健所、子育て支援センター等の講座時の一時保育ボランティア ・特別養護老人ホームや有料老人ホーム等での外出介助ボランティア ・デイサービスでの行事ボランティア ・有料老人ホーム、グループホーム等での紙芝居や絵本等の読み聞かせボランティア ・施設での清掃ボランティア ・障害者施設での行事ボランティア 	

(2)団体・在宅・被災者支援

活動回数	活動人数
119回	319回
(調整事例) <ul style="list-style-type: none"> ・にしなりあそぼパーク時の行事ボランティア(準備およびブース(工作コーナー等)) ・ブレイカープロジェクト/kioku 手芸館「たんす」、なるへそ新聞の活動ボランティア ・視覚障がい者の通院ガイドボランティア (在宅支援) ・衣類の衣替え等のボランティア (在宅支援) ・市営住宅1階エレベーターホールおよび住宅周りの清掃・見守りボランティア (被災者支援) ・区内の精神障がい者施設団体のレクリエーション活動への支援 ・地域でのイベントや清掃活動への支援 	

(3)パフォーマンスボランティア調整

活動施設数	活動回数
(大阪市ボランティア・市民活動センター) 13施設	26回
(西成区ボランティアビューロー) 10施設	20回
合 計 23施設	46回

10. NPOや市民活動団体からの相談件数

1	相談件数	延べ 12件
2	把握している団体数	22 団体
3	特記事項	<ul style="list-style-type: none">・西成区においては、男性ボランティアの登録が多いが、活動先の確保が難しく、多くが待機の状態となっている。そこで、NPO・市民活動団体等へ積極的にアプローチし、イベントスタッフ(準備や、ブース担当)ボランティア活動を行うなど、拠点づくりの支援として、室内掃除や改装手伝い等を行っている。・炊き出しや、夜回り、衣類の寄付等を行っている NPO や市民活動団体との情報交換により、区内だけではなく、地方からのあいりん地域でのボランティア活動希望者への情報提供を行っている。

西成区社会福祉施設連絡会

1. 現在の組織構成について

加 盟 施設数	内 訳(施設種別)					役員数 (人)	備 考
	児童・保育	高齢	生保	障害	その他		
59	22	21	5	5	6	6	地域連絡会世話人6人(うち役員兼務者3人、事務局1人)

2. 活動実施状況について

月 日	内 容	参加者
5月14日	役員・地域連絡会世話人会 ・役員・地域連絡会世話人の人事異動について ・総会について ・大阪府複数事業所連携事業補助金の申請について	8人
6月17日	総会 ・役員・地域連絡会世話人の改選について ・2012(平成24)年度活動報告について ・2012(平成24)年度決算報告について ・2012(平成24)年度会計監査報告について ・2013(平成25)年度活動計画(案)について ・2013(平成25)年度予算(案)について 講演 テーマ『大阪市における障がい者虐待防止の取り組みについて』 講 師 大阪市福祉局生活福祉部相談支援担当 課長代理 石上朋子氏	44人
8月22日	国立療養所「長島愛生園・邑久光明園」視察 ・歴史館見学 ・園内見学 ・入所者の方のお話・意見交換	26人
10月11日	役員・地域連絡会世話人会 全体会・地域連絡会について	8人
11月21日	全体会(研修会) テーマ『南海トラフ～巨大地震に備える～ 施設と地域のつながりについて』 講 師 西成区役所市民協働課 防災・防犯担当課長代理 森 恵美子氏 地域連絡会『地域とのつながりから防災を考える』 全大会での講義をふまえ、施設での防災に対する取り組み、地域との 日頃の関わりについての情報交換を行った。	39人
12月4日	交流会	23人

コミュニティソーシャルワーク推進(地域生活支援)事業

地域ケア会議開催回数	10 回
------------	------

< 個別相談実施状況 >

訪問による相談・支援延件数	(個別支援)	371 件	
	(関係先調整)	24 件	
電話による相談・支援延件数		211 件	
来所による相談・支援延件数		61 件	
相談・支援延件数 総計		667 件	
相談・支援延件数	(うち認知症件数)	50 件	
	(うち虐待件数)	2 件	
訪問による 相談・支援 関係先内訳	地域	9 件	
	福祉施設	1 件	
	教育機関	0 件	
	専門相談機関	5 件	
	行政機関	8 件	
	その他	1 件	
	高齢者電話相談実施状況		
	月末利用者数(実人数)	0 人	
	利用者への電話相談延件数	0 件	
主な相談支援内容	家族・家庭問題	44 件	
	経済・生活問題	185 件	
	介護サービスに関すること	7 件	
	介護予防サービスに関すること	0 件	
	介護予防事業に関すること	0 件	
	福祉サービスに関すること	18 件	
	保健・医療サービスに関すること	33 件	
	虐待に関すること	11 件	
	生きがいづくり	31 件	
	障がい制度関連	2 件	
	子育て	1 件	
	就労	8 件	
	その他	327 件	
	相談・支援内容 (延件数)	家族・家庭問題	61 件
		経済・生活問題	224 件
介護サービスに関すること		15 件	
介護予防サービスに関すること		0 件	
介護予防事業に関すること		0 件	
福祉サービスに関すること		28 件	
保健・医療サービスに関すること		40 件	
虐待に関すること		15 件	
生きがいづくり		58 件	
障がい制度関連		3 件	
子育て		3 件	
就労		10 件	
その他		378 件	

相談・支援者実人員			71 人
実人員 内訳	要支援者の 年齢	0～6歳	0 人
		7～39歳	13 人
		40～64歳	21 人
		65歳～	21 人
		不明	16 人
	要支援者の 主な種別	認知症	9 人
		認知症以外の要介護高齢者	5 人
		要支援・要介護以外の高齢者	10 人
		身体障がい	2 人
		知的障がい	1 人
		精神障がい	4 人
		アルコール依存	0 人
		子育て中の親	0 人
		ひきこもり	1 人
		その他	39 人
	要支援者の 種別 (延人数)	認知症	9 人
		認知症以外の要介護高齢者	7 人
		要支援・要介護以外の高齢者	15 人
		身体障がい	3 人
		知的障がい	2 人
精神障がい		5 人	
アルコール依存		1 人	
子育て中の親		4 人	
ひきこもり		2 人	
その他		50 人	
虐待疑有 の人数	高齢者虐待	0 人	
	児童虐待	0 人	
	障がい者虐待	0 人	
	その他虐待	1 人	

<地域訪問・活動実施状況>

訪問延回数			114 回	
訪問先 (延件数)	地域	77 回	福祉施設	5 回
	教育施設	13 回	専門相談機関	6 回
	行政機関	2 回	その他	10 回
訪問目的 (延件数)	個別課題の発見	7 回	地域情報の収集	33 回
	情報発信	18 回	住民活動支援	34 回
	関係機関等との連絡調整	16 回	個別課題支援検討会議	0 回
	その他	18 回		

新たな地域コミュニティ支援事業

1. 地域活動協議会・運営支援状況

平成25年度の運営支援については、市民協働課とまちづくりセンターの連携、まちづくりセンターのアドバイザーを中心とした現場力によって実施し、次の通り概ね目標を達成した。

第5ブロックにおける地域活動協議会形成状況

ブロック	区	地域数	形成地域	形成中・未形成
第5	阿倍野区	10	9	1
	住之江区	14	14	0
	住吉区	12	12	0
	平野区	22	22	0
	西成区	16	16	0
計		74	73	1

2. その他、関連取り組み

(1) 地活協運営支援及び協働の喚起に関する支援実績

	取り組み内容	第5ブロック						
		阿倍野区	住之江区	住吉区	平野区	西成区	計	
1	地域編集塾【地活協対象】	回数	22	16	3	0	5	46
		延べ参加地域数	29	29	14	0	54	126
2	地域編集塾【企業・NPO等対象】 (まちづくり企業NPO交流会、異次元交流ライブなど)	5	2	1	2	2	12	
3	会計説明会・会計研修実施回数	3	38	217	23	2	283	
4	地域編集塾・会計説明会以外セミナー開催数	5	1	1	0	1	8	
5	インタビュー数	120	139	84	61	105	505	
6	協働事例数(実現)	11	3	1	17	4	36	

(2) 地域編集研修

まちづくり支援員向け、77回開催

(3) 市民局・連絡調整会議／事業評価会議

アドバイザーを中心に、計21回開催

あんしんさぽーと事業(日常生活自立支援事業)

1. 相談件数

(単位:人)

	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	不明・その他 (*3)	合計
相談援助件数(*1)	10,743	3,730	3,891	261	18,625
初回相談件数(*2)	275	35	44	1	355
その他問合せ等	18	1	3	3	25
合計	11,036	3,766	3,938	265	19,005

(注)

*1 相談援助件数・・・日常の金銭管理サービス、関係機関への連絡調整、新規相談等

*2 初回相談件数・・・あんしんさぽーと利用希望者として受付をした人数

*3 不明・その他・・・対象者区分が不明・未確定

2. 契約締結件数

(単位:人)

認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他(*4)	合計
121	10	11	0	142

(注)

*4 その他・・・認知症のない高齢者・身体障がい者 等

3. 契約終了件数

(利用者の死亡・市外への転出・利用者による終了希望等)

(単位:人)

認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
68	10	6	3	87

4. 異動件数

(他区への転出・転入など)

(単位:人)

認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
2	0	0	0	2

(注)

マイナスは西成より他区へ転出。プラスは他区より西成区内へ転入

5. 利用者数

(単位:人)

認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
335	81	95	6	517

(参考:平成25年3月末現在)

(単位:人)

認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
282	81	90	9	462

6. 待機状況 (単位:人)

	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
相談中	45	7	7	0	59
未訪問	122	19	16	1	158
合計	167	26	23	1	217

(参考:平成25年3月末現在) (単位:人)

	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
相談中	61	7	10	0	78
未訪問	82	12	12	0	106
合計	143	19	22	0	184

7. 平成25年度 区別あんしんさぼーと事業の実施状況 (単位:人)

	3月末現在				
	利用件数	利用希望件数			計
		未調整	調整中	相談中	
北	41	0	1	7	8
都島	66	4	5	2	11
福島	52	0	0	1	1
此花	51	0	4	9	13
中央	35	0	1	4	5
西	46	0	0	2	2
港	82	0	0	9	9
大正	87	2	3	4	9
天王寺	35	0	0	0	0
浪速	141	2	3	11	16
西淀川	84	14	0	3	17
淀川	117	10	4	8	22
東淀川	232	39	5	0	44
東成	70	1	1	7	9
生野	144	9	5	10	24
旭	142	6	2	11	19
城東	105	16	5	8	29
鶴見	94	7	1	5	13
阿倍野	69	0	4	6	10
住之江	82	2	8	9	19
住吉	96	5	1	8	14
東住吉	210	0	22	9	31
平野	196	46	8	9	63
西成	517	155	3	59	217

合 計	2,794	318	86	201	605
-----	-------	-----	----	-----	-----

地域包括支援センター事業

1. 事業実績

(1) 高齢者とその家族のための身近な相談窓口

地域における身近な総合相談窓口として、社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師・看護師等がその専門性を活かしながら、チームで高齢者やその家族、地域住民、関係機関からのさまざまな相談を受け、介護保険や福祉、保健、医療等の適切なサービスにつなぎ、継続的に高齢者の生活を支援している。

[]内は平成24年度実績

訪問による相談支援延件数	1,253件	[984件]
電話による相談支援延件数	3,616件	[1,737件]
来所による相談支援延件数	1,088件	[760件]
その他	1,246件	[386件]
延べ相談件数	7,203件	[3,867件]
うち認知症疑い有	1,187件	
相談実人員	1,671人	[1,295人]
うち認知症疑い有	138人	
訪問による相談実人員	376人	[649人]

(2) 暮らしやすい地域のためのネットワークづくり

認知症、ひとり暮らしの人を始め高齢者誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域住民やさまざまな機関・関係者、区役所等と連携して高齢者のくらしを支えるためのネットワークづくりに取り組んでいる。

地域ケア会議の開催	48回	[36回]
居宅介護支援事業者連絡会の開催、参加	19回	[18回]
介護支援専門員への研修会の開催	6回	[8回]
介護支援専門員個別相談件数	1,447件	[1,008件]
ネットワーク構築のための会議開催・参加	106回	[105回]
地域密着型サービス運営推進会議への参加	21回	[19回]
食事サービス運営推進会議の開催	5回	[6回]
区運営協議会への出席	3回	[3回]
地域等との関係づくり	47回	[52回]

(3) 介護予防のためのケアプラン作成

要支援1・2と認定された高齢者や要支援・要介護状態になる恐れの高い高齢者が、介護保険サービスや介護予防事業を利用して、積極的に介護予防に取り組めるよう支援している。

介護予防ケアプラン作成数(一部委託含む・月平均)	1,073件	[1,043件]
--------------------------	--------	----------

2. 認知症高齢者支援ネットワークづくり

“認知症になっても安心して暮らせるまち西成”の実現を目指して結成された、認知症高齢者支援ネットワーク連絡会『ほっと!ネット西成』の事務局を、玉出地域包括、医師会、区役所とともに担当し、地域住民や関係機関の認知症に対する理解、支援を広げるためにさまざまな取り組みを行った。

連絡会は医師、歯科医師、薬剤師、民生委員協議会代表、ケアマネジャー・デイサービス等の介護保険関係者、キャラバンメイト連絡会、区内地域包括・ブランチ職員、保健福祉センター等をメンバーとし、25年度は「認知症の人と家族を支える地域づくり(講演会)」と「認知症の正しい知識啓発(認知症サポーター養成講座)」を二本柱に活動を展開した。

3. 家族介護者への支援

(1) 家族介護教室の開催

平成26年2月5日「アトワークを体験しよう！」

(2) 家族介護交流会の開催

実際に介護をしている家族や介護に関心のある地域住民を対象に、交流や情報交換のできる場づくりを目的に、月1回定例開催。介護者同士の交流の場であると同時に、毎回、小テーマを設けて、高齢者の暮らしを支える様々な制度に関する最新情報や介護に関する知識を得る場になるよう企画。

4. 区内地域包括支援センター合同の取り組みについて

(1) 西成区内地域包括支援センター連絡会の開催

月1回の定例開催。出席者は区内4地域包括管理者、西成区役所。内容は各地域包括の活動報告、情報交換、合同会議の運営方法、合同で取り組む事業・活動についての検討等。

(2) 主任介護支援専門員連絡会

区内4地域包括が事務局を担当し、数人の世話役主任介護支援専門員とともに企画・運営。区内のケアマネジャー全体の資質向上のため、事業所同士の連携を深め、ケアマネジャーが孤立しない相談しやすい環境づくりを目標に、25年度は2回の研修会を開催。

(3) 高齢者虐待ケースレビュー(振り返り)会議

区内4地域包括、区役所高齢者虐待担当合同で、年4回開催。毎回のレビュー会議では各地域包括で対応している虐待事例の支援方針・内容の相互チェックすると同時に、高齢者虐待についての地域課題の整理を行っている。25年度は区内高齢者向け集合住宅において発生した経済的虐待についての検討も行った。

(4) 二次予防事業担当者連絡会

月1回定例開催。各地域包括二次予防事業担当者間で介護予防の効果的な進め方について情報交換・意見交換を行い、それぞれの活動に活かしている。また、例年どおり区内4地域包括合同で「みんなの健康展」に参加。介護予防についての普及啓発を目的に「転倒予防エクササイズを体験しよう！」を実施し、多数の区民が参加。

5. その他の取り組み

(1) 地域学習会の開催

地区ネットワーク委員を対象に見守りネットワーク、認知症予防、地域包括支援センターの活動等をテーマに学習会を開催

(2) 各地区での情報交換会の開催

(3) 食事サービス運営委員会の開催

(4) サポートハウス連絡協議会学習会の開催

(5) 西成区福祉事業者連絡会、西成区ケアマネジャー勉強会の開催支援

(6) 介護支援専門員対象の研修会開催

(7) 西成区地域福祉アクションプランへの参画

総合相談窓口(ブランチ)事業

1. 相談件数

	訪問による相談	電話による相談	来所による相談	合計(件)
総合相談(延べ)	479	215	127	821

2. 総合内容

	総合相談(高齢者)		
	訪問相談	電話相談	来所相談
家族・家庭問題	1	2	2
経済・生活問題	9	19	8
介護サービスに関する事	31	37	15
介護予防サービスに関する事	4	4	1
介護予防事業に関する事	33	12	2
福祉サービスに関する事	14	5	8
保健・医療サービスに関する事	48	43	5
虐待に関する事	2	0	1
権利擁護 (成年後見制度・消費者被害)	2	2	0
生きがいづくり	15	2	3
その他	320	89	82
合計	479	215	127

3. 実態把握

高齢者(二次予防事業対象者以外)	84件
二次予防事業対象者	0件

※二次予防事業対象者の件数は、地域包括支援センターへの基本チェックリスト送付数

4. 会議参加

地域ケア会議への出席	3回
ブランチ連絡会への出席	12回
その他の会議への出席	28回

生活困窮者自立促進支援モデル事業 自立相談支援事業(はぎさぽーと)

1. 相談コーナーの開設

- (1) 開設日 平成26年1月6日
- (2) 開設場所 西成区合同庁舎5階
- (3) 相談員体制 主任相談支援員1名、相談支援員7名
⇒日常生活圏域を中学校下と捉え、各相談支援員を西成区の地域包括支援センター圏域に配置。西成区地域包括支援センター、玉出地域包括支援センター、北西部地域包括支援センター、東部地域包括支援センターの4圏域に1名ずつ計4名、他3名はあいりん地域に配置した。
- (4) 事務所 ①区役所3階に設置 ②平成26年5月以降にあいりん地域に事務所設置予定

2. 相談状況

- (1) 相談件数 (男女別相談件数 男29件、女性7件) (単位:件)

区分	1月	2月	3月	計
相談件数	8	13	15	36
相談延べ件数	15	22	61	98

◇年齢別 (単位:件)

区分	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	計
相談件数	1	7	7	12	4	5	36

- (2) 地域別 (単位:件)

地域包括圏域	相談件数			計	地域
	1月	2月	3月		
西成区	1	1	2	(11.1%) 4	弘治、橋岸里、萩之茶屋
玉出	1	3	1	(13.8%) 5	玉出、千本南津守
北西部		2	1	(8.3%) 3	長橋、松之宮津守、北津守
東部	2			(5.5%) 2	今宮、山王飛田、天下茶屋
あいりん地域	2	7	8	(47.2%) 17	
市外	2		3	(13.8%) 5	
計	8	13	15	36	

(3) 相談内容とその対応

① 住まいについて 8件

- ・所持金がないので、食事をすることも宿泊することもできない。
対応⇒一時、救護施設に入所し、その後に支援継続中。
- ・安定した住居がほしい。市営住宅に応募したいが、字が書けない。
対応⇒書類等の作成について支援する。

② 家賃・ローンの支払いのこと 2件

- ・収入が少なく家賃が払えない。家を追い出される。
対応⇒住宅支援窓口を紹介/住宅支援給付へつなぐ。

③ 仕事探し、就職について 10件

- ・障がいがあり、仕事が見つからない。
対応⇒障がい者手帳取得後、ハローワークで障がい者枠に応募、その後支援継続中。

④ 収入・生活費のこと 7件

- ・家賃滞納2ヵ月、生活費がなく、子ども3人の食事も満足に与えられない。
対応⇒生活保護窓口つなぐ。

⑤ 債務について 1件

⑥ 家族・人間関係 2件

⑦ その他 6件

3. 事業の取組状況

(1) 区民への周知

相談窓口の開設について、区広報紙(平成26年2月号)に掲載するとともに、周知ビラ、ポスターを作成し、区内の各種団体や区社会福祉協議会理事会・評議員会、ネットワーク委員連絡会や、各地域で実施されている「ふれあい喫茶」、「食事サービス」等の機会を活用して周知を図った。また、あいりん地域ケース会議やフォーラムへ積極的に参画している。

4. 事業の成果

- (1) 制度のはざまの対象者の支援が図れた。(例えば、生活保護の申請が却下になり、今までの制度だけでは支援困難となる者等への対応)
- (2) あいりん地域の各種支援団体を含めて、関係機関との連携がスムーズに行われ支援のネットワークが広がった。(ネットワーク構築につながった)
- (3) 法人として、総合相談窓口機能の土台作りとなった。(谷間のない包括的な相談支援)
⇒区社協の地域支援のCSW等やまちづくり支援センター、包括支援センターと協働して、総合相談窓口機能のシステムづくり。

5. 課題

- (1) 周知不足(周知方法の検討が必要。例えば、光熱水費や市民税等の滞納者への働きかけやポスティングによる配布等)
- (2) 緊急的な対応を要する場合への対応。例えば、土・日の対応をどうするのか、また、行政との連携をどう図るのか。(ワンストップ型の相談窓口での情報とサービスの拠点として。区役所内に事務所があり、土日は閉館)
- (3) 当面の生活費がすぐにでも必要な方からの相談が多く、すぐに就労準備支援につなげられていない状況。

西成区高齢者・障がい者地域見守り事業

西成区の公募事業を、区内包括支援センターを運営する4法人(区社協・自彊館・白寿会・ヒューマンライツ福祉協会)が連合体として受託し、区から提供のあった大阪市要援護者名簿を、住所・4法人の包括支援センター圏域により整理・精査し、調査対象者10,794名を抽出した。

個別訪問員が担当地域の対象者を訪問し、面談により「災害時要援護者情報の取扱いに関する同意書」の受領及び「西成区緊急時(災害時)要援護登録申請書(区名簿)」の勧奨を行い、2,653名(24.6%)の同意を得ることができ、日常生活状況聞き取りを行うことができた。

訪問実施件数	区社協		全体
	実数	%	
実件数	4,163	100.0%	10,794
延件数	5,124		14,043
訪問実件数の内訳	実数	%	
同意が得られた	1,336	32.1%	2,653
自主防災組織への情報提供についての同意が得られた	1,334	32.0%	2,643
区名簿への登録申請書が得られた	1,335	32.1%	2,644
地域包括支援センター・障害者相談支援センターへの同意が得られた	1,335	32.1%	2,646
訪問拒否	217	5.2%	942
訪問不在	775	18.6%	2,452
転居	520	12.5%	1,038
不能	1,315	31.6%	3,709

西成区老人福祉センター事業

1. 利用状況

(1) 開館日数	296日
(2) 利用者数(内訳)	77,809人(平成24年度実績 81,876人) 男性:46,977人(60.4%) 女性:30,832人(39.4%) 年齢別:60歳代 23.4%、70歳代 60.5%、80歳以上 16.1%
(3) 年間更新・新規登録者数	1,094人
(4) 1日平均利用者数	262.8人(平成24年度実績 277.5人)

2. 事業内容

(1) 教養講座

事業名	開催回数	参加人数	備考
みどころたくさん大阪市の博物館・美術館(大阪市博物館協会)	1	57人	4/24
ゴミの分別収集について(大阪南部環境事業センター)	1	57人	8/28
にしなり防災講座(西成区役所)	1	59人	12/11
認知症を理解しよう～認知症サポーター養成講座(西成区キャラバンメイト連絡会・梅南橋プランテ・区社協)	1	69人	2/26
知っておきたい「高齢者虐待防止法」	1	48人	3/26

(2) 各サークル活動実績(28サークル)

事業名	開催回数	参加人数	備考
英会話サークルⅠ	21	350人	第1・3月曜日
英会話サークルⅡ	21	370人	第1・3月曜日
英会話サークルⅢ	25	299人	第2・4金曜日
カラオケサークルⅠ	22	1,468人	第2・4火曜日
カラオケサークルⅡ	22	1,230人	第2・4火曜日
カラオケサークルⅢ	23	886人	第1・3火曜日
手話勉強会	23	328人	第1・3水曜日
民謡サークル	24	445人	第1・3木曜日
書サークル	23	468人	第1・3木曜日
書道(漢字・かな)サークル	23	943人	第2・4水曜日
詩吟サークル	24	707人	第1・3金曜日
踊りサークル	22	780人	第1・3金曜日
俳句サークル	11	232人	第4木曜日
三味線サークル	42	416人	毎週月曜日
バンパーサークル	12	927人	月1回及び隔月1回
卓球サークル	12	940人	月1回及び隔月1回
俳画サークルⅠ	12	141人	第2火曜日
俳画サークルⅡ	12	124人	第2木曜日
舞踊サークル	24	220人	第1・3火曜日
詩舞サークル	22	866人	第2・4土曜日
囲碁サークル	3	98人	4ヶ月につき1回実施
みんなで歌おうサークル	24	798人	第2・4月曜日
フラワーアレンジサークル	11	214人	第1水曜日
いちょう会	23	1,259人	第2・4水曜日
リフレッシュ体操	12	390人	第2木曜日
ギタークラブ	24	163人	第1・3木曜日
ハングル	20	149人	第2・4月曜日

(3) 生きがい探求講座

事業名	開催回数	参加人数	備考
日本銀行ってどんなところ	1	20人	5月29日
初心者のためのパソコン入門講座	4	52人	8/28～8/31連続
大阪くらしの今昔館	1	27人	10月25日
ふれあいコンサート(大阪フィルハーモニー)	1	112人	11月22日
フラワーアレンジ講習会	1	25人	12月27日
誕生会	12	250人	毎月開催
嚙下について(いちよう学園)	1	19人	10月29日
日常の食生活の栄養バランス(いちよう学園)	1	19人	11月5日
社会見学(いちよう学園)	1	19人	11月12日
高齢者への詐欺商法の手口(いちよう学園)	1	19人	11月19日
老後の生活設計(いちよう学園)	1	19人	11月26日
囲碁大会	3	91人	
年忘れ演芸大会	1	414人	12月25日
オセロ大会	10	308人	
将棋大会	3	101人	

(4) 利用者による館事業の実施

卓球サークルメンバーの運営・熱血指導のもと、初級・中級卓球講習会(全10回)を開催した。また、センター主催の各種競技大会(卓球、バンパー、輪投げ、スカットボール、オセロ、囲碁、将棋)の運営、審判等を利用者が中心に行った。また、サークル世話人の利用者主催の卓球大会(男女別、男女混合、紅白)、バンパー大会(男女別、男女混合、紅白)を土曜日に計36回開催した。昨年度と同様に年間数回会議を開きサークルの世話人・いちよう会代表者と意見交換を行っていききたい。特に高齢者福祉月間の「敬老大会」や各サークルの発表・競技大会の表彰を中心に行う「年忘れ演芸大会」では、計画・運営を自主的に行った。今後も利用者のニーズを反映した事業を、利用者と協働、企画・運営していきたい。

(5) 世代間交流事業

事業名	開催回数	参加人数	備考
区内小・中学生体験学習	2	8人	今宮中学校 2/3 2/4

(6) 健康づくり講座

事業名	開催回数	参加人数	備考
初級・中級卓球講習会	10	405人	5/13～毎週月曜日全10回
炒りたてコーヒー講座(NPO 一杯のコーヒーから地球が見える)	1	82人	5月22日
効果的なコミュニケーションと人間関係づくり(金融広報委員会)	1	47人	6月26日
健康のつどい“演歌ビクス体操”	1	66人	8月23日
うまみの秘密“おいしさ”の秘密発見	1	55人	9月25日
快適な眠りのために	1	64人	10月23日
がん検診はなぜ必要か	1	67人	11月27日
元気と若さを保つためのおすすめ食生活	1	72人	1月22日

(7) 健康・体力づくり行事

事業名	開催回数	参加人数	備考
卓球大会	10	682人	男女別
バンパー大会	10	737人	男女別
輪投げ大会	11	771人	男女別
スカットボール大会	6	417人	男女別
日帰りバスツアー	2	235人	嵯峨野トロット電車・竈山神社初詣
ボウリング大会	1	62人	8月30日

ペタンク大会	1	72人	11月9日
年忘れ競技大会	1	462人	全7種(卓球・スカッシュ・将棋他)
ニュースポーツ大会	1	229人	全6種(ラージボール卓球・バンパー・囲碁他)

3. 相談・情報機能の充実

(1) 身近な相談体制づくり

①総合相談事業等の講演会を開催し、利用者およびその家族の不安・悩みについて解消できるよう努めた。
②区役所・区社協と連携し、相談者に不安を抱かせないよう、その場で専門窓口を紹介できるようにした。
③区が行う会議や研修に積極的に参加し、職員の質の向上に努めた。

(2) 広報活動

①老人福祉センター「センターだより」を毎月発行し、関係機関に設置。
②区社協広報誌「社会福祉にしなり」・西成区老人クラブ連合会「はぎのはな」
③西成区広報誌「にしなり我が町」・西成区生涯学習情報誌「まなびや」
④西成区役所のホームページ、大阪市社協ホームページ、区社協ホームページにて情報提供を行っている。

4. 老人クラブ活動の支援

①「生きがいと健康づくり推進事業」を従来どおり老人福祉センターと共催、連携し講習事業・各種競技大会・イベントなど実施する。
②連合会・単位クラブでの行事に積極的に支援した。
③老人クラブに未加入の高齢者の加入促進として、利用者への老人クラブへの加入促進や広報活動などを支援した。
④老人福祉センターのリーダー養成などの事業と連携し、各単位老人クラブでの実施事業に支援した。
⑤西成区老人クラブのコーラス、大正琴、カラオケ、手芸サークルへ定期的な活動場所の提供と支援を行った。

5. 合同行事

(1) 合同行事

事業名	開催回数	参加人数	備考
らくてん寄席	3	111人	らくてん会
結核健診事業	1	88人	西成区保健福祉センター
老人学級	1	522人	西成区老人クラブ連合会
西成区民文化祭	1	自由参加	西成区コミュニティ協会
生涯学習フェスティバル	1	自由参加	西成区役所市民協働課
春の交通安全教室	1	71人	西成警察署交通課

(2) 高齢者月間行事

事業名	開催回数	参加人数	備考
大阪市高齢者俳句大会投句受付	1	-	8/6~8/31
敬老大会	1	339人	9/15

はぎのさと別館利用

1. 地域への開放

梅南ふれあい喫茶 毎月 第1月曜日

梅南食事(配食)サービス 毎月 第1・3土曜日

2. 大阪市手をつなぐ育成会事業実施場所提供

「大阪市知的障がい児親子通所事業」への実施場所提供

前期 1クール20回×9クール〔180回〕

5月から9月 毎週 月・火・木・金

後期 1クール20回×9クール〔180回〕 合計360回

10月から3月 毎週 月・火・木・金

居宅介護支援事業

要介護者が可能な限り、住み慣れた居宅で希望する生活を継続することができるよう、居宅サービス計画を作成する。業務を行うにあたっては、利用者の意思を尊重し、常に利用者の立場に立ち、公正中立に居宅介護支援事業を実施する。

〔 〕は24年度実績

介護ケアプラン作成数(月平均)	21件	〔 15件〕
-----------------	-----	--------

通所介護事業

(単位:人)

	開所日数	実利用者数								延利用者数								入浴介助延加算数	減免対象利用者数
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計		
4月	21	0	3	7	10	12	3	3	38	0	12	32	77	64	39	28	252	232	1
5月	21	2	6	6	10	12	3	3	42	6	29	28	72	63	44	22	264	222	1
6月	20	4	3	6	10	11	5	2	41	13	16	28	78	52	49	25	261	225	1
7月	22	4	3	7	10	10	5	2	41	15	18	44	79	55	60	28	299	258	1
8月	22	5	3	7	8	11	5	1	40	21	16	42	69	70	58	12	288	246	1
9月	19	5	3	7	7	11	5	2	40	20	15	32	54	68	53	11	253	213	1
10月	22	5	4	6	9	11	5	3	43	18	21	34	66	72	46	26	283	240	1
11月	21	5	4	7	10	12	3	3	44	18	19	42	51	77	36	28	271	226	1
12月	19	4	5	7	10	13	4	3	46	14	25	36	66	78	32	27	278	235	1
1月	19	4	5	6	9	12	4	3	43	14	21	34	50	82	35	30	266	230	1
2月	18	3	5	8	8	9	4	3	40	7	29	39	46	53	31	24	229	191	1
3月	20	3	7	8	9	8	5	3	43	7	43	35	59	56	39	28	267	216	1
合計	244									153	264	426	767	790	522	289	3,211	2,734	

1日平均利用者数 13.17人

<参考>平成24年度 延利用者 2,892人 1日平均利用者数12.43人

介護予防事業

(単位:人)

事業	クール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
	複合型予防事業 (運動器・栄養・口腔)	参加実人員	8	8	7	7	8	7	9	9	7	9	8	8	8	8
参加延人数		121	122	50	83	107	87	141	130	85	121	46	33	25	27	1,178

※11～14クールは、事業継続中（上記は、3/31までの人数）

閉じこもり等予防事業 (いきいき・元気教室)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	二次予防 対象者	28	34	31	32	20	26	35	39	37	38	37	44	401
	一般高齢者	129	160	128	137	65	151	154	142	120	136	152	137	1,611
	合計	157	194	159	169	85	177	189	181	157	174	189	181	2,012

運動器の機能向上事業

(月)(火)クラス 午前11:00～12:30

(木)(金)クラス 午前9:30～11:00

栄養改善事業

(月)(火)クラス 午前9:30～11:00

(木)(金)クラス 午前11:00～12:30

口腔機能向上事業

(月)(火)クラス 午前9:30～11:00

(木)(金)クラス 午前11:00～12:30

閉じこもり等予防事業(いきいき・元気教室) 14地域で毎月1回実施

東日本大震災の避難生活者ならびに 被災地への支援について(平成25年度)

平成23年3月に発生した東日本大震災により、市内において市営住宅の無償提供を受けて避難生活している約1/4が、西成区内で居住しており、区社会福祉協議会では、地区社会福祉協議会、民生委員協議会、ネットワーク委員会や各種機関・団体等と連携し、日常生活の支援等を行っている。

1. 西成区内の避難生活者数

平成26年3月31日現在、西成区内の市営住宅「南津守」「長橋通住宅」等に入居し、社会福祉協議会の支援を希望している避難生活者は、27世帯58人

2. 避難生活者への支援状況

日常生活の相談や支援、各種招待や案内の周知、大阪市社会福祉協議会や大阪市ボランティア市民活動センターなどのイベントの案内、世帯訪問(相談がほしい随時)、義援金の募集及び送金など

3. 各イベントへのお誘い

(1)南津守 お別れ茶話会

実施日 平成25年7月30日

参加者 南津守避難生活者、南津守社協、南津守ネットワーク委員会、清掃ボランティア、区社協

内容 避難生活者の世帯が福島県へ戻ることになり、送別会を行った。

(2)南津守地域クリスマス昼食会(南津守福社会館)

実施日 平成25年12月25日

参加者 避難生活者南津守地区9名、長橋地区2名、南津守社協、南津守地域ネットワーク委員会、長橋地域ネットワーク委員会、区社協

内容 南津守福社会館にて避難生活者が集まり、南津守地域ネットワーク委員会を中心に長橋地域ネットワーク委員会が協力し、手作りのクリームシチュー等で南津守地域と長橋地域の避難生活者にクリスマス会を楽しんでもらった。今年は南津守地域から長橋地域に呼びかけ長橋地域の被災者と委員が参加できたので、新たな交流を行うことができた。また、サンタクロースからのプレゼント、全員での記念撮影などを行った。

4. イベント招待

平成25年 8月 第51回 夢ステージリサイタル招待

12月 大阪南西ロータリークラブ「年末家族会」

平成26年 3月 ～避難者のつどい in KANSAI～

5. 第3回大阪マラソン(平成25年10月)の応援

内 容 避難生活者が西成区内のコースでランナーを応援